



熱の働き

Living warmth

2017年9月14日～9月17日

ゲーテアヌム医学セクション  
国際年次会議

Goetheanum

私の心臓には  
太陽の力が射し込む  
私の魂には  
世界の熱が働く

私は呼吸しよう  
太陽の力を

私は感じよう  
世界の熱を

太陽の力が私を満たす  
世界の熱が私を貫く

ルドルフ・シュタイナー、1923年、GA268

親愛なるアントロポゾフィー医学の友人たちへ、

本年度の年次会議に心よりお誘いいたします！

熱というテーマをもって、私たちは新しい会議のサイクルを始めます。熱の中から宇宙は進化してきました。私たちの最奥の、創造的個性は私たちの身体の熱の中で生き、働いています。人生の歩みの中で人間の熱機構は発達し、その昼と夜のリズムには身体における自我の存在が反映されています。その活動は発熱の中で高まり、その一方でがん疾患をもつ多くの患者たちは熱機構の障害を示します。熱をもちいた注意深い看護は、誕生の境域においても、死の境域においても、大きな治療的意味を持っています。

今日、人類という共同体は地球の熱に対して責任を負っています。アントロポゾフィーは私たちに、いかに私たちが大気圏に対して、また地球と太陽の関係に対して内的関係を発達させることができるか、多くの示唆を与えています。同様に、アントロポゾフィーは、患者の熱との治療的関わりについても、たとえば発熱との関わりに

において、一つの方向づけを与えてくれるのです。外用療法から、今年 100 周年を迎えるヤドリギ療法にいたるまで、アントロポゾフィー医学は私たちに、熱機構の障害における豊かな治療の可能性を提供しています。

年次会議では、熱に対する職業横断的な観点から、医学セクションの 5 つの「ケアのテーマ」が現代の大いなる治療的課題として講演の中心に据えられます。ワールド・スペースではさまざまな活動や事業を簡潔にご紹介いただくための時間と場所を提供します。7 月 15 日までお申し込みを歓迎します ([worldspace@ifaam.org](mailto:worldspace@ifaam.org))。50 以上の学際的および専門的な分科会では、今回の会議のテーマに共に取り組み、私たちの理解を深め、治療的能力を拡張したいと思います。土曜日の夜は、オイリュトミー講演の後、ゲーテアヌムのテラスでの祝祭をもって閉じる予定です。

皆様のご参加を楽しみにお待ちしております！

マティアス・ギルケ、ゲオルグ・ゾルトナー

*Matthias Girke und Georg Soldner*

国際アントロポゾフィー医学調整機関 IKAM コレギウムの委託にて:

アンドレアス・アーレント、ローランド・ベルスドルフ、ラウラ・ボルギ、ダグマー・ブラウアー、マリオン・デーブス、ルネ・ドゥ・ヴィンター、ヤン・フェルトマン、オリヴァー・フリートレンダー、タニヤ・ガイプ、ヤン・ゲッセル、アグラヤ・グラーフ、ロルフ・ハイネ、ハルトムート・ホルン、アンドレアス・イエシュケ、キルスティン・カイザー、エレン・ケラー、ヘルムート・キーネ、グンヴァー・キーンレ、マンフレート・コールハーゼ、ペトラ・キューネ、シュテファン・ラングハマー、デーヴィド・マーティン、エルマ・プレッセル、ユリア・ペンクル、ザビーネ・リンガー、アレクサンダー・シャドウ、シュテファン・シュミット＝トロシュケ、ハイケ・ゾンマー、アンナ・ゾフィア・ヴェルトマン

---

## 分科会 A

木曜日 17:00–18:30、金曜日 11:15–12:45

土曜日 11:15–12.45 + 15.30–16:00

いずれの分科会も4回で内容が積み重なるように構成されています。

### 1. アントロポゾフィー医学への鍵としての熱理解

4回とも各1時間30分:・W1: なぜ熱は一つの物質なのか? (導入の講義)・W2: 熱産生性の治療物質 (ローズマリン、ショウガ、カラシなど)・W3: 小児科学における発熱・W4: 癌、ヤドリギ、熱。導入の講義、インパルスとなる発表、グループでの話し合い、共同のエクササイズ、学術的研究成果、具体的治療アドバイス。ヘルムート・キーネ医学博士、医師、ドイツ・フライブルク; グンヴァー・ゾフィア・キーンレ医学博士、医師、ドイツ・フライブルク; ヤン・ヴァゲデス、医師、ドイツ・フィルダーシュタット; ティード・フォン・シェーン=アンゲラー、医師、スイス・ジュネーヴ; デーヴィッド・マーティン、小児・青少年科学専門医、小児内分泌学及び糖尿病学、ドイツ・チュービンゲン (ドイツ語、英語)

### 2. 熱機構の基盤としての私たちの中の不可視の人間 - 研究とエク

ササイズ。自我の流れの知識を実践的に応用することにより、私たちの中の不可視の人間の働きを体験できるようになります。発達、予防、治療への寄与。カトリン・シュトゥーダー=ゼン、医師、スイス・ザイス (ドイツ語、ロシア語)

### 3. 栄養はいかに熱プロセスを促進し支えることができるのか?

熱存在としての人間においては自我は熱の中に受肉します。熱は人間の物質性、生命性、心性、精神性のどこに見い出されるのでしょうか? 熱プロセスを支えるものとしての栄養を取り上げます。果実や個別の食品の成熟の意味。発表、話し合い、食事からなる対話式の分科会です。ヤスミン・ペシュケ博士、家庭栄養学士、栄養学者、スイス・ドルナハ; アニータ・ペダーソン、家庭栄養学士、栄

養学者、ドイツ・ヘルトヴァンゲン＝シェーナハ； エラ・ヴァルナー、自然療法士、ドイツ・ミュンヘン（ドイツ語、英語）

**4. 熱機構の看護における外用療法。** 病気の人間、特にその熱機構の看護における外用療法の意味を、アントロポゾフィー人間学にもとづいて明らかにし、深めていきます。同時に参加者は、カルラ・メナート看護師から、ラファエル療養院（Casa di Salute Raphael）の長年の経験を踏まえた実践的な外用療法の手ほどきを受けることができます。ステファノ・ガスペリ医学博士、医師、イタリア・トレント； カルラ・メナート、看護師、イタリア・カステッロ・テジーノ（トレント）；（ドイツ語、イタリア語）。

**5. 親であることを学ぶ：生後3年間の健康な発達に寄り添うための道具。** 医学的および教育的な観点から、妊娠期と生後3年間の親に寄り添うための道具を、「歩行、言語、思考」のダイナミズムにもとづいて提供します。国際色豊かな参加者が、それぞれの文化圏から職業上の経験を持ち寄ってくださることを楽しみにしています！ シュテファン・シュミット＝トロシュケ医学博士、小児・青年科学専門医、ドイツ・ベルリン； ビルギット・クローマー、幼稚園教師、オイリュトミスト、ドイツ・フライブルク（ドイツ語、英語）

**6. 妊娠、産褥、乳幼児期のペアレント・スクーリング。**

人生の最初期における子どもの本質にふさわしく適切に行動し、形成する社会環境はその後の全生涯にわたる健康と行動に本質的な影響をおよぼします。この分科会の目標はペアレント・スクーリングの方法論的要素である「赤ちゃん準備講座」「生後3日目の保護者講座」「子どもの遊び空間」「大人の学習空間」を学び、実習することにあります。クリストフ・マイネッケ医学博士、小児科医、心理療法士、ドイツ・ベルリン； クリスティーナ・マイネッケ、ペアレント・カウンセリング、施設責任者、ドイツ・ベルリン（ドイツ語、英語）

**7. 子ども時代の本質と熱。** この分科会の作業の中心は、健康な子どもの発達にとっての身体的、心的、精神的な熱状況の本質的意味を

表すことです。学際的チームにおいて、アントロポゾフィー医学、ヴァルドルフ教育、“文芸”の観点から、実践に役立つ情報、エクササイズや症例を共に見ていきます。ジルケ・シュヴァルツ医学博士、医師、園医、校医、ドイツ・スウイスタール； アルムート・ボッケミュール、ドイツ文学者、スイス・ドルナハ； アンゲリカ・ヴィール医学博士、教育学者、ドイツ・アルフター（ドイツ語、英語）

#### 8. 瞑想、代願、祈りによる治療的効果をもつ熱プロセス。

人間の熱機構の中では温度計で測定可能な体熱に、魂や精神の活動によって産生される熱の特性が浸透しています。それと結びついた健康促進作用が分科会の中心に据えられます。ミヒャエラ・グレックラー医学博士、ゲーテアヌム医学セクション名誉代表、スイス・ドルナッハ（ドイツ語、英語）

#### 9. オイリュトミーによる熱のメディテーションの理解。

ルドルフ・シュタイナーの「六つの行」のエーテルの流れは「私は語りを考える」の所作とともに、熱のメディテーションに際してのその応用の基盤を与えるものです。“TAO”をもって“心臓チャクラ”の理解が深められます。ハラルド・ハース医学博士、精神医学及び心理療法専門医、スイス・ベルン； テオドール・フントハンマー、オイリュトミー療法士、スイス・エプザッハ（ドイツ語）

#### 10. アントロポゾフィーによって拡張された治療における熱の意味。

**基礎、作用様式、応用。**アントロポゾフィー人間学、胎生学、具体的所見、治療、社会的関係において、私たちは熱のさまざまな発現型に出会います。これらの側面を多様な治療の観点から考察し、その共通性を浮かび上がらせたいと思います。すべての治療者の方々とともに、この問いに取り組みたく心よりお誘いいたします。エルマ・プレッセル、自然療法士、シメオン・プレッセル式マッサージ養成者、ドイツ・シュトゥットガルト； ペーター・アルトマイヤー、オステオパス *DOMRO*（オステオパシー資格取得、オステオパス登録会員）、*DPO*（小児オステオパシー資格取得）、ドイ

ツ・ザーレム; ジャクリーヌ・ピーパー、理学療法士、企業理学療法士、スイス・プラトヴァル（ドイツ語、英語、オランダ語）

**11. 物質、人間の出会い、メディテーションにおける熱体験。**さまざまな物質や人体の部位への接触は特異的な熱体験をもたらします。同様に社会的な相互作用からも繊細に異なる熱が発生します。ルドルフ・シュタイナーは熱というテーマをめぐって数多くのメディテーションを与えました。私たちはそれらの多様な熱の特性を知覚し、記述し、治療に役立てたいと思います。ロルフ・ハイネ、健康／疾患看護師、ドイツ・フィルダーシュタット（ドイツ語、英語）

**12. 新しい熱感覚の発達の道具としての熱のメディテーション。**熱におけるさまざまな知覚特性を発達させる道としての熱のメディテーション。新しい感性知覚の発達生理学／器官学。チャクラから六つの行、熱のメディテーションまで。この観点からみたルドルフ・シュタイナーの生涯の仕事における熱のメディテーションの特別な位置づけ。治療状況における実践上の有効性。ヘンリク・シェーケ医学博士、医師、ハンガリー・ピリスツェントクレスト; ジェイメン・マクミラン、スペーシャル・ダイナミクス教師、アメリカ合衆国・スキューラーヴィル; クリスティーナ・シュピッタ、医師、ドイツ・バート・リーベンツェル（ドイツ語、英語）

**13. 共同作業における熱と信頼。**マインドフルなチーム文化を促進するための現代にふさわしいオイリュトミー・エクササイズ。ソニア・ツァウシュ。ソーシャル・オイリュトミスト修士。スイス・ドルナッハ（ドイツ語、英語）

**14. アントロポゾフィー医薬品製造における熱プロセス。**この分科会では薬剤製造における熱の低い段階から高い段階までの体験を通して、物質とその作用にとっての熱プロセスの意味を明らかにしていきます。実践的デモンストレーションを伴う分科会です。ディプロム薬剤師ハイケ・フリートレンダー、薬局経営者、ドイツ・キュールクスボルン; ザレーテ・マルティネス＝クレット、薬剤師、ドイツ・シュヴェーヴィッシュ・グミュント（ドイツ語）

### 15. サイクロン発生と腫瘍のアナロジー。ヤドリギ、渦、熱機構。

さまざまな動物の種は、熱代謝（熱の産生、保存、排出）にさまざまに関わります。彼らには動物性熱機構の構築における“戦略”があり、そこからいかに動物はつねに自分の熱機構を健康に、また物質体における生存に効果的に保っているかを見ることができます。これは人間の多様性を理解するための一例です。サブリーナ・メネストリーナ獣医学博士、獣医、イタリア・ウーディネ； ヴィルベルト・バイエル獣医学博士、獣医、スウェーデン・ヤーナ； クラウディオ・エリ獣医学博士、獣医、イタリア・ミラノ； ラウラ・ザンボニ、獣医、イタリア・ベッルーノ（ドイツ語、イタリア語）

### 16. 熱器官としての心臓: 循環器疾患における熱の治療的意味。

心臓は胎児の発達過程で最初に形成される器官です。ルドルフ・シュタイナーは進化における土星紀の熱状態でも、心臓はすでに器官として分化して存在していたと述べています。その後の進化段階を通じて心臓は幾重にも造り変えられて行ったのです。この分科会では硬化症とその治療を熱との関連で考察し、治療コンセプトを展開させていきます。クリストフ・カウフマン医学博士、医師、スイス・アーレスハイム； アンドレアス・フリード博士、医師、ドイツ・ベルリン（ドイツ語、英語）

### 17. 呼吸障害と治療手段における熱機構（特に肺がんと肺線維症を中心に）。

四分節における熱機能の多様な側面を考察し、肺疾患の病理と治療との実践的関連のもとでそこに光を当てていきます。熱の諸力は中心的治療原理と独創的な治療アプローチを形成しますが、これに（部分的には小グループで）取り組みます。クリスティアン・グラール医学博士、内科・呼吸器科専門医、ドイツ・ベルリン； エファ・シュトライト医学博士、内科・呼吸器科専門医、スイス・アーレスハイム（ドイツ語、英語）

### 18. 学際的腫瘍学におけるヤドリギ療法。

ヤドリギ療法は多様な腫瘍の種類と段階に対する多様な応用



の可能性 - 皮下、静脈、病変内局注 - をもち、アントロポゾフィー医学の中心に位置しています。そこで重要なのはすべての治療的職業グループがヤドリギの効果のために力を合わせることであり、それによって看護、芸術療法などを通して熱機構を支える可能性を生み出すことです。セバスティアン・シュロット医学博士、医師、ドイツ・フィルダーシュタット; マリオン・デーブス医学博士、医師（血液学／腫瘍学）、ドイツ・ベルリン（ドイツ語、英語）

**19. アントロポゾフィーによって拡張された腫瘍学の中で熱がもつ位置価値: ヤドリギ、発熱、高体温。** 腫瘍療法における熱機構の意味; 看護（ケア）と挑発; 腫瘍療法の時間的調整と組み合わせの重要性。形態形成: 講義、症例、経験と意見の交換。モーリス・オレンジ博士／修士、医師、スイス・アーレスハイム; ライナー・レントナー医学博士、内科専門医、スイス・アーレスハイム（ドイツ語、英語、オランダ語）

**20. がん患者における熱とアントロポゾフィー芸術療法の関係。** 芸術療法をもってがん患者に寄り添うと、いかに芸術プロセスが個人的な（自我の）諸力を掌握し、熱の覆いを生み出し、本質的な魂的プロセスを促進することにより、病気が《眠り込む》ことができるかがわかります。量的及び質的なパラメーターが変化します。人間の中の心地よい感覚が生み出されます。理論的、実践的経験。ルース・ミリアム・トリヴィーノ、アントロポゾフィー医師、造形芸術家、コロンビア・カリ; マヤ・モーサ、芸術療法士、スペイン・バルセロナ; カティア・ヴィラロボス C、医師、コロンビア・カリ（ドイツ語、英語、スペイン語）

**21. 人間の生体における体的、心的、精神的熱プロセス - 腫瘍学におけるオイリュトミー療法の治療過程。** さまざまな腫瘍疾患におけるオイリュトミー療法エクササイズの並び。エクササイズの選択と構築。ピルコ・オリライネン、オイリュトミー療法士、ドイツ・グレッツィンゲン; シャイラ・グランデ医学博士、医師、ブラジル・リオデジャネイロ（ドイツ語）

22. がんのリハビリテーションにおけるオイリュトミー療法を通しての熱プロセス。患者の物質的、心的、実存的次元における熱プロセスの経験／体験の報告。オイリュトミー療法の実践的エクササイズと、それに関してヤーナ（スウェーデン）のヴィーダー・クリニックで行われた研究についての話し合い。 アニカ・アルヴェネング、修士、オイリュトミー療法士／治療オイリュトミスト、スウェーデン・ヤーナ； エリザベート・ブローガー・グレーン、オイリュトミー療法士／治療オイリュトミスト、スウェーデン、ヤーナ（ドイツ語、英語）

23. うつ病の症例にみる治療的作業における熱プロセス - 心理療法と芸術療法の異なる作用とその共鳴。うつ病の病像についての心理学的素描の中で、病因論と心理療法を考察します。熱という元素の意味を体験します。芸術療法の方法論と問いを立てることに特に重きをおき、小さな芸術的エクササイズを通してその作用様式を体験していきます。エレン・ケラー、ディプロム心理士、心理学的心理療法士、ドイツ・ザールブリュッケン； ヨハンナ・グンケル、芸術療法士、学士、BVAKT（アントロポゾフィー芸術療法職業連盟）、ディプロム・デザイナー、ドイツ・ケルン、（ドイツ語、英語）

24. 境域におけるトラウマと断片化との取り組み。アントロポゾフィーに基づく医学的、心理療法的、芸術療法的アプローチ。トラウマでは人間の四分節の相互作用が深刻な障害を受けます。上記の療法はそれらの再統合に向けてどのように熱機構に働きかけることができるのでしょうか？症例 - ファシリテーター及び参加者からの報告も歓迎します。マイケル・エヴァンズ、医師、生涯学習教師、イギリス・ストラウド； マラー・エヴァンズ、心理療法士、芸術療法、スーパーバイザー・トレーナー、イギリス・ストラウド（英語）

25. 授業の教授法と方法論を通しての学童への不安の発生 学校への不安は、知的知識の知識の非芸術的提供や、子どもの体的＝心的＝精神的個性への不十分な関わりによっても発生します。こうした不安は身体感覚とエーテル器官の発達やリズム系の発展を障害し、それによって人生全体に影響を及ぼします。この分科会では治療の

ための芸術的、心理療法的な可能性と取り組みます。アド・デッカー、ス、心理士、心理療法士、オランダ・ビルトーヴェン； ジャック・モイルマン、ヴァルドルフ教師、心理士、オランダ・アムステルダム； ジル・モイルマン、オイリュトミー療法士、オランダ・アムステルダム（ドイツ語、英語、オランダ語）

26. 傷つきやすい人間と熱 - 脆弱性とレジリエンス。傷つきやすさと熱という現象に基づき、感染症をもつ人々、年老いた人、腫瘍疾患をもつ人々の看護領域における熱の特異的特性に取り組みます。症例、選出した外用療法、オイリュトミーに即して、多様な側面を体験しつつ深めていきます。モニカ・ライヤー、ディプロム看護師、*RN, MAS*（登録看護師、上級研究修了）、*AP/RE IFAN*（国際アントロポゾフィー看護フォーラム、アントロポゾフィー看護エキスパート／リズム・アインライビング）、スイス・ヴェングリ； イザベラ・ヘア、ディプロム看護師、*RN*、アーレスハイム病院看護主任、スイス・アーレスハイム； ラッヘル・メーダー＝リス、オイリュトミスト、スイス・イッティンゲン； ウルザ・ノイハウス、*Lic. Phil*（文献学修士）、*R.N.* ディプロム看護師、教師、エキスパート *AP IFAN*、スイス・ベルン（ドイツ語）

27. アントロポゾフィー緩和医療。私たちは進行性疾患をもつ患者にどのように寄り添うのでしょうか？ 地上の生の末期にある人をどのように支えるのでしょうか？ 不安、落ち着きのなさ、痛み、衰弱、呼吸困難、胃腸の疼痛にはどのような治療法が有効なのでしょうか？ 死への憧れと死への恐れとの関連ではどのような意味をめぐる問いが現れるのでしょうか？ 緩和医療では複数の職業が協働します。医学と看護の観点からこれらのテーマに取り組み、緩和医療の患者が歩む境域への内的な道に精神的な進化の道として向き合いたいと思います。マティアス・ギルケ医学博士、医学セクション代表、スイス・ドルナッハ； ブリッタ・ヴィルデ、保健師／看護師、ドイツ・ブリーゼラング（ドイツ語）

9月14日 木曜日

9月13日、20時–9月14日12.30

大学会員の集い  
自由大学会員対象

14–14.45  
講師会合

15 開会

15–16.30  
挨拶  
講演  
身体の誕生における熱 – 妊娠と出産  
ゲオルグ・ゾルトナー、アンゲラ・クック、  
カーリン・ヴァルトフォーゲル

16.30–17 コーヒーブレイク

17–18.30  
分科会 A

18.30–20 タベの休み

20–21.30  
死者の追悼  
全体集会  
子どもとその親  
進行: ゲオルグ・ゾルトナー  
クリスティーナとクリストフ・マイネッケ、  
ルート・エンステ

オイリュトミーによる終幕

熱の働き ● 12

9月15日 金曜日

8–8.45  
自由大学の集い (公開)  
熱のメディテーション  
ペーター・ゼルク

9–10.30  
講演 \*  
発熱: 急性感染症、抗生物質耐性  
デーヴィッド・マーティン

抗生物質耐性とアントロポゾフィー医学  
エリク・バールス

日々の診療における急性感染症の治療  
マデレーン・ヴィンクラー

10.30–11.15 コーヒーブレイク

11.15–12.45  
分科会 A

12.45–15 昼休み

15–16.30  
ワールド・スペース  
国際プロジェクト紹介、  
文化的講演\*

16.30–17 コーヒーブレイク

17–18.30  
分科会 B

18.30–20 タベの休憩

20–21.30  
講演  
パニック障害の学際的治療  
ヘンリエッテ・デッカーズ＝アッペル、  
ハルトムート・ホルン

オイリュトミーによる終幕

8-8.45

メディテーション\*\* ジルケ・シュヴァルツ、  
デーヴィッド・マーティン

もしくは

自由大学の集い (公開)

ルカ福音書の治癒衝動\*\*

フリートヴァルト・フーゼマン

もしくは

第16時間 (大学会員対象) \*\*

マティアス・ギルケ

9-10.30

講演

がん疾患をもつ人間の治療

マリオン・デーブス

症例報告

腫瘍学的芸術療法から

ヨーゼフ・ウルリヒ

10.30-11.15 コーヒーブレイク

11.15-12.45

分科会 A

12.45-15 昼休み

15-16.30

分科会 A

16.30-17 コーヒーブレイク

17-18.30

分科会 B

18.30-20 タベの休憩

20-20.45

オイリュトミー公演

21-22.30

テラスでの祝祭

(晴天時のみ)

8-8.45

メディテーション\*\* ジルケ・シュヴァルツ、  
デーヴィッド・マーティン

もしくは

自由大学の集い (公開)

ルカ福音書の治癒衝動\*\*

ゲオルグ・ゾルトナー

もしくは

第19時間 (大学会員対象) \*\*

ミヒャエラ・グレックラー

9-10.30

講演

アントロポゾフィー緩和医療: 境域をめぐる  
寄り添いと診療

マティアス・ギルケ、ブリッタ・ヴィルデ

10.30-11.15 コーヒーブレイク

11.15-12.30

講演

人間の尊厳

ステファノ・ガスペリ

アントロポゾフィー医学の発展

マティアス・ギルケ、ゲオルグ・ゾルトナー

礎石のメディテーション (オイリュトミー)

12.30 閉会

全体集会における講演は\*を除き、すべてドイツ語で行われ、次の言語に通訳されます:  
中国語、英語、フランス語、イタリア語、日本語、スペイン語、ロシア語

\* 英語、通訳あり

\*\* ドイツ語、英語への通訳あり

プログラムは変更の可能性があります!

28. 心の苦しみと精神疾患における“色彩プロセス”をもちいた内的な熱の強化: 新しい挑戦 臨床ケースと実践的作業の分析、及び個人的経験の分析。パトリツィア・アンデルレ、医師、精神科医、イタリア・パドヴァ、モンセリーチェ; アナマリア・サックマン、芸術療法士、イタリア・パドヴァ (英語、イタリア語)

29. 緩和医療における音楽療法を通しての熱の活性化。緩和医療を受けている患者の状況、とりわけ不安や痛みの徴候の医学的記述から出発し、熱の意味や、熱機構を音楽療法を通して活性化する可能性をみていきます。人間学の側面、患者の症例、各自の観察に即して取り組みます。ラウラ・ピファレッティ、芸術療法士 (ED)、アントロポゾフイー音楽療法、スイス・メッゲン; シュテファン・オブリスト、内科医、緩和医療専門医、スイス・チューリヒ (ドイツ語、イタリア語)

30. 熱を通しての生命力の変容。実践的な瞑想訓練、治療実践のためにイマジネーションからインスピレーション、イントウイションへと一歩一歩進んでいきます。ロベルト・ケンペニツヒ医学博士、医師、フランス・シュトラスブルク (ドイツ語、英語、フランス語)

---

## 分科会 B および職業グループ

金曜日と土曜日、17:00 – 18:30

いずれの分科会も 2 回で内容が積み重なるように構成されています。

31. ルドルフ・シュタイナーの熱講座について。ルドルフ・シュタイナーは 1920 年に主にヴァルドルフ学校の教師のために“熱の本質”と元素、四つのエーテルについて、とりわけ物理学の観点から講座を行いました。この分科会では、この講座における、熱を“境界現象”として提示するもっとも重要なモチーフを取り上げます。ヨハネス・キュール、物理学者、ゲーテアヌム自然科学セクション代表、スイス・ドルナッハ (ドイツ語)

32. 医学的＝治療的社会組織の温暖化と寒冷化: 組織と品質の発達。社会組織は多くの熱を、しかしまた大きな寒冷を放射することがあります。この分科会では、そうしたプロセスを形成するうえで、組織と品質の発達を提供する可能性に取り組みます。方法論的装置として黄道十二宮の諸力の“コンパス”をもちいます。ゲルハルト・ヘルツ博士、コンサルタント、監査官、ドイツ・グレーベンツェル; ザビーネ・リンガー、ハウス・モルゲンシュテルン所長、ドイツ・シュトゥットガルト (ドイツ語、英語)

33. 植物の熱 – 熱の植物: 植物と人間の熱プロセス。タイムは、照りつける夏の太陽のもと、大地に低く身をかがめ、退縮した葉の中で力強く香ばしい精油を煮立たせます…セイヨウナツユキソウは湿った低湿地に高く聳え立ち、雲のように白い花から夕暮れの熱の中へ魅惑的な香りを噴霧します…この二つをはじめ、その他の薬草にも共に直観しつつ迫りたいと思います。トビアス・ダウミュラー医学博士、内科専門医、ドイツ・ハイデンハイム; ウルリヒ・ガイヤー医学博士、内科専門医、ドイツ・ハイデンハイム; アンドレアス・ラウバースハイマー医学博士、総合医学専門医 (ドイツ語、英語)

34. 熱: 治癒過程におけるその役割の生命的・心的・社会的探究。熱の物理的体験が (生理学的機能免疫系活動やアレルギーなど) や心理学的基準 (痛みの域値、拒食症の摂食パターン)、そして社会的相互作用 (社会的感受性、集団結合) に影響を与える過程を示す多様な臨床研究を検討します。それぞれのセッションでは、応用できる看護実践の実演も行われます。アダム・ブランニング、医師、アメリカ合衆国・コロラド州デンバー; エリザベス・サスティック、正看護師、アントロポゾフィー看護スペシャリスト、アメリカ合衆国・マサチューセッツ州ノーサンプトン (英語)

35. 金属色彩光を通しての変容プロセス。金属色彩光療法では、支えと深い生命化をもたらす熱プロセスが促進され、それによってトラウマは生理学的および心的＝精神的な次元において変容されることができます。知覚の訓練、経験をめぐる話し合い、症例研究、金属色彩光療法の発展に関する情報と養成。フリートリンデ・マイヤー、金属色彩

光療法士／オイリュトミー療法士、ドイツ・バート・リーベンツェル；  
ヘーゼル・アダムス、芸術療法士、金属色彩光療法士、イギリス・ブ  
リストル、ウェストベリー・オン・トライン；ホルガー・シマンケ、  
金属色彩光療法士、歌唱療法士、ドイツ・フィルダーシュタット（ド  
イツ語、英語）

### 36. オイル・ディスパージョン入浴療法の人間の熱機構への作用。

オイル・ディスパージョン入浴療法の基本的な作用様式への導入。実  
践的デモンストレーション。会議テーマについての参加者からの質問  
への包括的な取り組み。ラインホルト・シェーン、医学的入浴療法マ  
イスター、ドイツ・バート・ボル；ラリッサ・シェーン、ボートマ体  
操教師、療法士、バーデンビュルテンベルク州、バート・ボル（ドイ  
ツ語、ロシア語）

### 37. アントロポゾフィー自然療法士の自由、自己決定性、倫理。

“私が全体の福祉に仕えることを義務と覚悟するという理由でそのよう  
に行動したとき、それがあまり全体の福祉に仕えることにならないの  
はなぜなのか？” 私たちはアントロポゾフィー自然療法士として、こ  
の問いを含むいくつかの問いをテーマとして取り上げ、共に探っていき  
たいと思います。アレクサンダー・シャドウ、心理療法のための自然  
療法士、ドイツ・ニンハーゲン；ミヒャエル・フェルケル、自然療  
法士、オイリュトミー療法士、ドイツ・ツェレ（ドイツ語）

38. 太陽の力を動かす - Moving Sun Forces. 太陽の力を動かすこと-ス  
熱、光、生命をもたらすペーシャル・ダイナミクスエクササイズと  
実践的技術。ジェイメン・マクミラン、スペーシャル・ダイナミクス  
研究所所長、アメリカ合衆国、シューラヴィル（ドイツ語、英語）

39. 治癒的フォルメン線描。新しい観点、自己治癒力の活性化、失わ  
れた感動を呼び覚ますことを求めて、治療的フォルメン線描は単純な手  
段できわめて効果的な可能性を提供します。分科会ではいかにフォル  
メン線描を通して描き手の形成に到れるかを示します。集中した自己  
活動は内的な熱を生み出します。ペーター・ビューヒ、フォルメン線



描家、成人教育従事者、スイス・シュテーフア（ドイツ語、英語、フランス語）

40. 魂と熱を浸透させる言語造形。詩と言語エクササイズに沿って、語られる言語の熱をもたらす作用を体験します。芸術的作業を中心に据えます。キルスティン・カイザー、治療的言語造形家、スイス・バーゼル（ドイツ語）

41. トラウマ療法における歌唱療法。「アンカヴァリング・ヴォイス学派」（Schule der Stimmthüllung）の音、呼吸、言語音声をもちいた基礎的な歌唱エクササイズを通して、心と身体の関係の刷新と深化のプロセスが可能になり、それによってトラウマとの取り組みが本質的に支えられます。人間学に基づき、これらのエクササイズの基本的特徴に取り組みます。トーマス・アダム、歌手、歌唱療法士、ドイツ・ボッフム；コリンナ・ファルク医学博士、心身医学専門医、ドイツ・マウルブロン（ドイツ語、英語、スペイン語）

42. 動きの中の熱・運動療法における熱形成の多様な層。熱は運動を通して発生します。しかし、ある動きが暖かいか冷たいかは身体性によるものではありません。ボートマ体操のいくつかのエクササイズをもとに、人間本性の多様な層との関わりの中、熱と運動に取り組みたいと思います。シュテファン・ティロ、ボートマ体操療法士、理学療法士、ドイツ・エメンディングゲン（ドイツ語、英語、ロシア語）

43. 患者の能力と健康能力。政府と保健機関は、患者に自分の健康や健康をめぐる選択や自分の健康に対してもっと責任を負うことを求めています。それも病気の時だけでなく、いかに健康を維持できるかを求めるのです。そのために必要な能力はどのように得られるのでしょうか？ またどのような能力が必要なのでしょうか？ レネ・デ・ヴィンター、修士、会長、オランダ・ライトスヘンダム； マリオライン・デースブルク＝ヴァン・クレッフエンス、会長、オランダ・ザイスト； ヴィーネッケ・グロート、コンサルタント、オランダ・ザイスト； レナーテ・ジッペル、修士、所長、オーストリア・クンベルク（英語）

44. **ローエランド体操／運動訓練**。この分科会ではいろいろな動きに取り組み、熱意ある行為を通して熱というテーマに迫りたいと思います。呼吸リズムの運動過程を通して熱プロセスが活性化され、それが個人的な人格の発達を促進し、健康な社会プロセスの基盤を形成します。自分自身を温め、動きましょう。ザビーネ・ポデール、ローエランド講師 (R)、体操教師、スポーツ教師、ドイツ・アルトウスリート； シモーネ・コーリング、体操／運動療法、ローエランド、ドイツ・カッセル (ドイツ語、英語)

45. **専門医グループ国際会合**。毎年、専門医グループにより、活動内容、研修、後進のリクルート、国際ネットワークについて意見交換を行っています。専門医もしくは専門医を目指す研修医の方々であれば参加できます。マリオン・デーブス医学博士、医師 (血液学／腫瘍学)、ドイツ・ベルリン (ドイツ語、英語)

46. **ANTHROMEDICS – アントロポゾフィー医学のためのポータルサイト**。Anthromedics プロジェクトは 2017 年より医学セクションに直接所属します。再構築の進捗状況、内容、共同作業へのお誘い。この分科会は特に専門医、治療及び看護職のエキスパートの方々を対象です。マティアス・ギルケ医学博士、内科専門医、医学セクション代表、スイス・ドルナッハ (ドイツ語、英語)

47. **青年医師及び青年アントロポゾフィー看護フォーラムの職業グループ会合**。ルドルフ・シュタイナーの《架け橋講演》(GA202、1920 年 11 月-12 月) から選出したテキストをもとに、「生理学的及び精神的＝道徳的な熱」というテーマに取り組みます。エヴァ・ルッツ、医学生、ドイツ・ハノーヴァー (ドイツ語、英語、スウェーデン語)

48. **公共社会におけるアントロポゾフィー医学のイメージ**。アントロポゾフィー医学の現在のイメージは、その文化衝動を国際的に一貫したものとして公共社会の中でさらに発展させるために、何を必要としているのでしょうか？ ハイケ・ゾンマー、修士、国際調整機関における報道・広報活動担当、スイス・ドルナッハ；シモン・ベドナレク、医

師、オーストリア・ブリングバール; テオ・ステップ、企業コミュニケーション代表、ドイツ・シュヴェービッシュ・グミュンド; バーバラ・ヴァイス、DAMiD (ドイツ・アントロポゾフィー医学連合) 事務長、ドイツ・ベルリン (ドイツ語、英語)

49. 外用療法ヴァーデメクム。ホームページのプレゼンテーション及び意見交換。ベルンハルト・デッカーズ、保健師/看護師、ドイツ・フイルダーシュタット (ドイツ語)

50. どのようにすればオイリュトミー療法を現代にふさわしい形で公共社会に提示できるのか? オイリュトミー療法 100 周年が近づいています。この2回の分科会では、私たちはどのようにして未来において世界各地の公共社会にオイリュトミー療法を提示することができるのかを一緒に考えたいと思います。私たちは治療者としてどのように公共社会に関わればよいのでしょうか? どのようにすれば私たちは共通の器官である、オイリュトミー療法という専門分野を通して強められつつ活動することができるのでしょうか? クリスティアン・シュナイダー、オイリュトミー療法士、ドイツ・アルフター; アダルハイドゥール・オラフスドッティール、オイリュトミー療法士、アイスランド・エイラルバッキ (ドイツ語、英語)

51. オイリュトミー療法における実践領域。オイリュトミー療法の同僚同士による活動報告と意見交換: どのような人間学的基盤が各自の実践領域のための基礎をなすのか? 個々の疾患にはどのような運動の特徴が観察されるのか? 各自の実践領域で最も取り組みが必要とされているのは何か? マレイケ・カイザー、理修士、オイリュトミー療法士、オーストリア・グラーツ (ドイツ語、英語)

52. いかに関欧州の医療制度の中でアントロポゾフィー医学を強化するか? アントロポゾフィー医学 (AM) は欧州の医療制度の中では、2-3の加盟国においてのみ十分に認知され統合されているにすぎません。この分科会では、現存する医療政策及び法的な障害を示し、問題の解決につなげるためにあのような戦力と手段を講じるべきかを確かめるつもりです。アンドレアス・ビーザンツ、ブリュッセル、ベルギー・

ブリュッセル、ブリュッセル事務所責任者（ドイツ語、英語、イタリア語）

**53. IAAP 総会。**国際薬剤師連合（IAAP）の2017年通常総会には、関心をお持ちの方、また各国の薬剤師連盟の会員にご参加いただけます。ネリー・セグール、クリスティアン・ビリンガー、オリヴァー・フリートレンダー、クリスティアン・モル、ヨラン・モシューバー博士。土曜日 17:00 - 19:00 のみ。マンフレート・コールハーゼ理学博士、薬剤師、ドイツ・シュトゥットガルト； モニカ・メネット・フォン＝アイフ、薬剤師、スイス・アーレスハイム（ドイツ語、英語）

**54. リサーチ・カウンスル。**国際研究委員会の年次会議。ヘルムート・キーネ医学博士、医師、ドイツ・フライブルク（英語）

**55. 講師養成プランニング・グループ（Teach-The-Teacher TTT）。**この分科会は「講師養成会議」準備会の非公開の催しです。この催しでは、開催された2017年の会議を振り返り、次の2018年の会議へと眼差しを向けることとなります。準備／講師チーム。ヤン・フェルトマン医学博士、ドイツ・ベルリン； アンゲリカ・シュティーバー、オイリュトミー療法士、スイス・バーゼル＝ラントシャフト州、リースタル； ディートハルト・タウシエル、医師、ドイツ・ヴィッテン／ヘルデッケ（ドイツ語）

**56. EFPAM 年次総会と円卓会議。**招待された方のみ。ルネ・ヴィンター、EFPAM 会長、オランダ・ライトシェンダム（英語）

**57. 心理療法士の国際会合。**トラウマ、睡眠障害、不安、うつ病のアントロポゾフィー心理療法の治療コンセプトの研究と発展について国際的な意見交換を行います。ハルトムート・G・ホルン、小児科／青少年科専門医、心理療法士、ドイツ・アイヒタル； アド・デッカーズ、哲学心理学博士、心理士、心理療法士、GG オランダ・ビルトーヴェン； ヘンリエッテ・デッカーズ、哲学博士、臨床心理士、オランダ・GG ビルトーヴェン； エレン・ケラー、ディプロム心理士、心理学的心理療法士、ドイツ・ザールブリュッケン（ドイツ語、英語、オランダ語）

58. IAABT 職業グループ会合及び会員集会。IAABT（国際アントロポゾフィー身体治療協会）は、会員を始め、関心を持つお客様には、9月16日、土曜日、17:00の会員集会にご参加いただけます。金曜日には同じ時間に会員集会を準備するための理事会の会合があります。クリスティーナ・シュピッタ、医師、スペーシャル・ダイナミクス運動療法士及び養成者、ドイツ・バートリーベンツェル（ドイツ語、英語）

## ポスター展示活動と申し込み

### 研究に関するポスター展示

アントロポゾフィー医学の研究についてのポスターは、会議の開催期間を通じて、木工場ホールに展示されます。どうぞ皆さんの最新の研究成果を一枚の形式（問題設定、素材、方法論、結論、フォーマット：118 x 84 cm）に要約して、2017年8月1日までにスイス・アーレスハイム病院研究部門ダニエル・クリュルケ理学博士にお送りください。

Dr. rer. nat. Daniel Krüerke, Klinik Arlesheim, Forschungsabteilung Arlesheim, Schweiz, E-Mail: Daniel.Krueerke@klinik-arlesheim.ch  
受理された要約は年次会議で資料として配布され、続いて『メルクールシュタープ』誌に「科学研究活動の報告」として掲載されます。

### 世界各地の医療＝社会プロジェクトに関するポスター

本年度の年次会議ではすべての国と大陸における事業を歓迎します。金曜日午後のWORLD SPACEではプロジェクトや文化活動の簡潔な報告が行われます。報告（3-7分）に関心のある方は2017年7月15日までにお申し込みください（タイトル、国、要約）。興味深いポスター（英語！）は展示し、医学セクションのウェブサイトで公開する場合があります。世界のアントロポゾフィー医学運動から寄せられるアイデアをととても楽しみにしています。連絡先: [worldspace@ifaam.org](mailto:worldspace@ifaam.org)

## 申し込み

Goetheanum Empfang

Postfach, 4143 Dornach 1, Schweiz

Tel. +41 (0)61 706 44 44, Fax +41 (0)61 706 44 46

tickets@goetheanum.org

## 通訳

全体集会での催しは中国語、英語、フランス語、イタリア語、日本語、ロシア語、スペイン語に同時通訳されます。これらの言語以外の言語による通訳を希望される方には、ご自分で通訳者をお連れくださいますようお願いいたします。そうした「通訳者としての参加者」には無償の参加証をお渡しいたします（8月31日までに次のアドレスにお問い合わせください: [tagungen@medsektion-goetheanum.ch](mailto:tagungen@medsektion-goetheanum.ch)）。

## 言葉遣いについて

読みやすさの観点から、ドイツ語の男性形の表現にはつねに女性形も含意されていることをご承知おきください。

## 寄付（会議参加費の振込みには使用しないでください）

年次会議の参加費の軽減や旅費の補助のためにご寄付いただく方々に心より感謝いたします。

スイス国内からの銀行送金: Allg. Anthr. Ges., Med. Sektion,

IBAN CH53 8093 9000 0010 0605 6 – BIC: RAIFCH22, Verwendungszweck: JK 2017

ドイツ国内及び国際送金: Med. Sektion, Förderstiftung AM,

IBAN DE92 6839 0000 0000 9707 60 – BIC: VOLODE66, Verwendungszweck: JK 2017

# Booking Form

# 7JK

Living warmth

A Conference of the Medical Section at the Goetheanum from Thursday, 14 to Sunday, 17 September 2017

Booking closes: Thursday, 31 August 2017

Please complete the booking form and mail, fax or email to:

Goetheanum Empfang, Postfach, CH-4143 Dornach

Fax + 41 61 706 4446, Tel. + 41 61 706 4444 email tickets@goetheanum.org

Please fill out in block capitals!

Ms  Mr

Name, first name \_\_\_\_\_

Billing address  private address  address of institution \_\_\_\_\_

Name of institution \_\_\_\_\_

Street, n° \_\_\_\_\_

Town \_\_\_\_\_

Postcode \_\_\_\_\_

Country \_\_\_\_\_

Phone/fax \_\_\_\_\_

Email \_\_\_\_\_

Occupation \_\_\_\_\_

I need translation into  English  French  Spanish  Italian  Russian  Japanese  German  Chinese

Conference ticket without meals

CHF 280 regular price  CHF 180 with concessions<sup>1</sup>  CHF 90 students<sup>2</sup>  500 with sponsorship<sup>3</sup>

Conference ticket with meals (2x lunch, 3x evening meal)

CHF 405 regular price  CHF 305 with concessions<sup>1</sup>  CHF 215 students<sup>2</sup>  625 with sponsorship<sup>3</sup>

Breakfast (3x)  CHF 45

Workshop A 1<sup>st</sup> choice, n° \_\_\_\_\_ 2<sup>nd</sup> choice <sup>4</sup>, n° \_\_\_\_\_ 3<sup>rd</sup> choice <sup>4</sup>, n° \_\_\_\_\_

Workshop B or Professional group 1<sup>st</sup> choice, n° \_\_\_\_\_ 2<sup>nd</sup> choice <sup>4</sup>, n° \_\_\_\_\_ 3<sup>rd</sup> choice <sup>4</sup>, n° \_\_\_\_\_

Group accommodation (mattresses on the floor. Please bring a sleeping bag, a pillow and a sheet, limited places)

CHF 30 (3 nights from 14 to 17 September 2017)  CHF 40 (4 nights from 13 to 17 September 2017)

Parking at the Goetheanum  Parking permit: CHF 21

Insurance

Cancellation insurance (5% of the total costs, CHF 10 minimum)

See cancellation conditions in the General Information

Payment methods

on invoice (only Switzerland and Euro zone)

Credit card (all countries)  Visa  MasterCard

Card number: \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ Expiry date: \_\_\_\_ / \_\_\_\_

I would like to receive the biannual programme of Goetheanum events (in German).

I agree to the terms of payment and cancellation.

\_\_\_\_\_  
Place, date, signature

<sup>1</sup> For OAPs, the unemployed and people with disabilities who receive benefits. Proof of status has to be submitted with the booking form.

<sup>2</sup> For students, schoolchildren, those in training, military or civil service. Proof of status has to be submitted with the booking form.

<sup>3</sup> Should you be in a position to pay an additional amount, this would help to cover the costs of the conference and support the work of the section.

<sup>4</sup> When registering, your first choice is no longer open, is cancelled or will be cancelled, your second and third choice will be taken into account. If your first, second or third choice is full, we will try to contact you. Please look for updated information at the start of the conference.

Terms and Conditions will be sent on request or can be accessed online at [www.goetheanum.org/6025.html](http://www.goetheanum.org/6025.html).

# General Information

## Living warmth

A Conference of the Medical Section

at the Goetheanum from Thursday, 14 to Sunday, 17 September 2017

Booking closes: Thursday, 31 August 2017

Conference fees:	Regular price:	CHF 280	with meals:	405 CHF
	Concessions <sup>1</sup> :	CHF 180	with meals:	305 CHF
	Students <sup>2</sup> :	CHF 90	with meals:	215 CHF
	With sponsorship <sup>3</sup> :	CHF 500	with meals:	625 CHF

## Conference meals

Conference meals (vegetarian with dessert) include 2x lunch and 3x evening meal at CHF 125 in total.

Breakfast (3x) can be booked separately at CHF 45. The other meals cannot be booked separately. We regret that food intolerances cannot be catered for.

## Group accommodation

*(Booking possibility on the booking form, further information: [www.goetheanum.org/6644.html](http://www.goetheanum.org/6644.html))*

Accommodation with mattresses on the floor: 3 nights from 14 to 17 September 2017 (CHF 30) or 4 nights from 13 to 17 September 2017 (CHF 40). Please bring a sleeping bag as well as a pillow and a sheet; limited places.

## Parking permit

for the period of the conference: CHF 21 (not right next to the Goetheanum building)

If you have a disability, please display your disability badge in your car.

## Methods of payment/confirmation

On receipt of a group application, the respective institution will receive the account for the group. Subsequent bookings can only be applied for and paid on an individual basis.

**Credit cards (all countries):** The full amount will be charged to your credit card as soon as your booking has been processed. You will receive postal or email confirmation of your booking and payment.

**Invoice Switzerland:** Confirmation of booking and an invoice will be sent to you once your booking has been processed. Please note that we only send out invoices up until 10 days before the beginning of an event. After that, payment is only possible by credit card or on arrival.

**Invoice Eurozone:** Confirmation of booking and an invoice will be sent to you once your booking has been processed (Euro account). Please note that we only send out invoices up until 14 days before the beginning of an event. After that, payment is only possible by credit card or on arrival.

**Other countries:** Once your booking has been processed you will receive a confirmation by post or email. The amount due will either be charged to your credit card or you can pay on arrival. Bank transfers are not possible.

Please note that the conference fee must be paid before the conference starts.

**Conference tickets:** Tickets can be collected at Reception until half an hour before the conference starts, also if you pay on arrival. We accept cash (Euro and CHF), VISA, MasterCard, ec-direct and Postcard-Schweiz.

**Cancellation:** Bookings may be cancelled free of charge up to 14 days prior to the begin of the conference (31.8.2017, date of posting). After that, 50% of the conference fee will be charged. Meals, breakfast, parking permit and group accommodation may be cancelled free of charge up to 1 day prior to the begin of the conference (13.9.2017). Cancellation on the day when the conference begins or failure to attend are subject to a 100% invoice total. Substitutes will be accepted at no extra cost.

**Cancellation insurance:** Subject to a payment of 5% of total costs (CHF 10 minimum) full cancellation insurance can be taken out to cover illness (including dependent children and partner), job loss and force majeure. Please ask for our terms of insurance or visit [www.goetheanum.org/6053.html](http://www.goetheanum.org/6053.html).

**Data processing:** All data will be electronically recorded and filed.

---

## Goetheanum Guest Houses and Accommodation

Haus Friedwart	from CHF 75, about 5 min. walk to the Goetheanum phone +41 61 706 42 82, <a href="http://www.friedwart.ch">www.friedwart.ch</a>
Begegnungszentrum	from CHF 30, about 10 min. walk to the Goetheanum phone +41 61 706 42 82, <a href="mailto:friedwart@goetheanum.ch">friedwart@goetheanum.ch</a>
Accommodation bureau	rooms from CHF 55 <a href="mailto:kontakt@rooms-dornach.ch">kontakt@rooms-dornach.ch</a> ; <a href="http://www.rooms-dornach.ch">www.rooms-dornach.ch</a>

Prices are per person per night. Prices for accommodation cannot be guaranteed.

You can find further accommodations on our website: [www.goetheanum.org/4283.html](http://www.goetheanum.org/4283.html)